

La 97-a Japana Esperanto-Kongreso, en la urbo Nagasako

Dato: la 9-a, 10-a, 11-a de oktobro 2010 / **Kongresejo:** Nagasaki Brick Hall (Halo Briko de Nagasako) / **Kongresa Temo:** *Esperanto ŝanĝas la mondon, ankaŭ vin!*

Ĉefaj programeroj

la 8-an de oktobro (vendrede)

Ekskurso: Vidi la feston *Kunĉi*

la 9-an de oktobro (sabate)

Posttagmeze: Ekskurso laŭ la plano *Saruku*

Vespere: Amika Vespere (prezentantoj atendataj)

La 10-an de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Fakaj kunsidoj, prelegoj (esperante, japane)

Posttagmeze: Simpozio **Ĉio komenciĝis de Nagasako** (japane)(nedecidite)

Vespere: Komuna bankedo en la hotelo

La 11-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakaj kunsidoj, prelegoj (esperante, japane)

Posttagmeze: Ĝenerala kunveno de la kongreso

Post la kongreso: Ekskurso al Unzen kaj Ŝimabara (ĝis la 12-an de oktobro, marde)

Memoraĵo: *La Silento* verkita de ENDOU Ŝuusaku, traduko de DOI Ĉieko

Nagasako kaj Esperanto — Historio de Esperanto-movado de Nagasako
(japane)

Kotizoj: Loĝantoj en Japanio (inkl. eksterlandanoj)

5 000 enoj (ĝis la 28a de februaro 2010)

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2010)

7 000 enoj (post la 31a de julio 2010)

Pri ceteraj kotizoj (handikapuloj, junuloj, lernantoj, eksterlandanoj, moralaj partoprenantoj ktp) demandu al Konstanta Kongresa Sekretario (jek10n@jei.or.jp).

Loĝservo: ĉe Nagasaki Diamond Staff Co., Ltd.

Rete:al KKS (jek10n@jei.or.jp)

Ekskurso (la 9-an de oktobro, sabate) : senpage

Postkongreso (la 10-an kaj 11-an de oktobro, lunde kaj marde) : 25,000 enoj

Foto: 1 000 enoj

Lunĉo: la 10-an kaj 11-an de oktobro, 950 enoj potage

Pri plidetalaj informoj havu kontakton kun Konstanta Kongresa Sekretario DOI Hirokaz,
ĉe Japana Esperanto-Instituto/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
telefono.: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582, retadreso: jek10n@jei.or.jp

hejmpaĝo: <http://esperanto.jp/jek10n/>



La 97-a Japana Esperanto-Kongreso Nagasaki

la 9-a, 10-a, 11-a de oktobro 2010

第97回日本エスペラント大会 (長崎市)



日時：2010年10月9日（土），10日（日），11日（月・祝日 体育の日）

会場：長崎ブリックホール（〒852-8104 長崎市茂里町2-38 TEL:095-842-2002）

主催：長崎エスペラント会，財団法人 日本エスペラント学会，日本大会常置委員会

後援（予定）：文部科学省，日本ユネスコ国内委員会，独立行政法人 国際交流基金，社団法人 日本ユネスコ協会連盟，社団法人 日本ベンクラブ，長崎県，長崎市*，長崎県教育委員会*，長崎市教育委員会*，NBC長崎放送*，エフエム長崎*，KTNテレビ長崎*，NCC長崎文化放送*，NIB長崎国際テレビ*，NHK長崎放送局*，西日本新聞社*，長崎新聞社*，朝日新聞社*，毎日新聞社*，読売新聞社（*印：2009年9月9日現在承認済み）

長崎は，日本における最初のエスペラント伝道者，フランス出身で日本に帰化したアルフォンス・ミスレルがいた町。1902年，英字新聞の長崎プレスにエスペラント紹介記事を書き，それを大村出身の黒板勝美博士が読み，日本にエスペラントを広めるきっかけになりました。

昭和初期に長崎大学などを中心としてエスペラント運動が活発となり，九州では1927年の福岡に次いで，1934年（昭和9年）に第22回の日本エスペラント大会が長崎で実施されました。この時から76年ぶり，2回目の長崎での日本大会開催となります。

長崎は，江戸幕府の鎖国政策の中，日本で唯一，外国との貿易を許されていた町。出島を通じて，中国，オランダから世界最新の文化が入ってきていました。幕末には，坂本龍馬をはじめ，日本の俊英が長崎で最新知識を得て，日本の近代化に貢献しました。2010年には，NHKの大河ドラマ「龍馬伝」が始まり，長崎出身の福山雅治が龍馬役を演じ，三菱重工創始者の岩崎弥太郎とともに注目されます。

崇福寺などの中国寺や中華街など中国との交流も深く，またキリスト教徒も多く，26聖人殉教や島原の乱での弾圧など，キリスト教文化もたくさんあり「長崎県内の教会群を世界遺産に」という運動も始まっています。広島に続き，原爆の被害にあった町でもあります。

長崎は，まさに東洋と西洋の文化が混じったチャンポン文化が花開いていると言えます。シンボルマークは，この長崎の特徴を現しています。

大会テーマは，「エスペラントは世界を変える，そして，あなたも！」。長崎港をまたぐ女神大橋が完成し，新しい町へと変貌を遂げつつある歴史の町，長崎で，エスペラントを通じて，あなたも変わってみませんか！皆さんの参加をお待ちしています。

大会後観光は，雲仙・島原へ

主なプログラム

- 10月8日(金) 午後・大会前観光 くんちを観る
10月9日(土) 午後・大会前観光(「さるく」52コースに自由参加。詳細は
<http://www.saruku.info/>をご覧ください)
・分科会, 市民対象初級講座(公開・無料)
夕・Amika Vespero(出演者募集中)
10月10日(日) 午前・分科会, 講演(エスペラント, 日本語)
午後・シンポジウム「すべては長崎から始まる」(未定)
夕・懇親会(Bankedo) ホテルにっしょうかん。
10月11日(月・祝日<体育の日>)
午前・分科会, 講演(エスペラント, 日本語)
午後・全体集会
大会終了後 大会後観光(雲仙・島原へ) (~12日<火>)

大会記念品1 遠藤周作『沈黙』, 土居智江子訳

長崎は、島原の乱を始め、キリスト者受難の地。秀吉、家康に禁教とされたキリスト教。それにもかかわらず、キリスト教を信仰する人たちを、長崎では特に厳しく迫害しました。迫害を受けるキリスト者に対する<神の沈黙>。なぜ、神は黙しておられるのか? この永遠のテーマを扱った遠藤周作の名作「沈黙」。翻訳は、『もの食う人びと』『対訳バルバラとエリーコ』『地球時代のことば』などの翻訳や著書のある土居智江子さんです。

大会記念品2 『長崎とエスペラント～長崎エスペラント運動史～』

日本のエスペラント運動は長崎から始まりました。歴史を掘り起こします。

大会場：長崎ブリックホールへの交通

1. 長崎空港からリムジンバスで1時間内、片道800円、往復1200円(2人で1枚ずつ使うこともできお得です)。:
 - 1.1 4番のりばから、浦上經由長崎駅前行きリムジンバス、浦上駅前下車徒歩5分
 - 1.2 5番のりばから、出島道路經由茂里町行きリムジンバス、茂里町下車徒歩1分
2. JR長崎本線「浦上駅」下車、徒歩5分。浦上駅には全列車が停車します。
3. 路面電車・バス茂里町^{もりまち}停留所下車徒歩3分

連絡先：日本エスペラント大会事務局 財団法人日本エスペラント学会内

〒162-0042東京都新宿区早稲田12-3 メールアドレスjek10n@jei.or.jp (第97回大会専用)

電話: 03-3203-4581, FAX: 03-3203-4582, お問い合わせはなるべくメールでお願いします。

ホームページ: <http://esperanto.jp/jek10n/>

参加申込みは(同封の)郵便振替 00100-4-400372 (日本エスペラント大会)へ。振り替え到着後2週間をめどに領収書(はがき)をお送りします。

大会参加費など

(単位は円)

参加費	2月末 日まで	7月末 日まで	8月1 日以降	記念品・報告書, 備考
①一般	5,000	6,000	7,000	あり
②障害者	2,000	3,000	4,000	あり
③家族	2,000	3,000	4,000	なし, 記念品の受領希望者は①で申し込んで下さい
④青年	2,000	3,000	4,000	あり, (1984年1月1日以降の生まれの人)
⑤中学・高校生	1,000	1,500	2,000	あり (ただし, 単独での参加者に限る)
⑥小学生以下	500	700	1,000	なし
⑦外国からの留学生	2,000	3,000	4,000	あり, (日本に留学している外国籍の人)
⑧外国から		2,000		
⑨不在参加		3,000		
⑩記念写真		1,000		
⑪懇親会 (10日)		6,500		菜食希望の方は記入のこと。
⑫昼食 (10日)		950		(お茶付き) 菜食希望の方は記入のこと
⑬昼食 (11日)		950		
⑭観光 (11・12日)		25,000		雲仙・島原 (1泊, 3食, 諸入場料込み)。参加人数により参加費が多少変わります。
⑮JEI学力検定試験	1級: 5,000円, 2級: 3,000円, 3級: 2,000円, 4級: 1,000円			
⑯JEI新テスト	500円			

取り消し 1) ①～⑨の参加費は原則としてお返しできません。

の条件 2) ⑩～⑯の費用は, 9月末までに限り, 返金手数料500円を控除して返金します。

宿泊斡旋 長崎市内にはたくさんの宿泊施設があります。インターネットでの予約も可能ですが, 長崎ダイヤモンドスタッフ (株) がおせわします。ご希望の方は直接ご連絡ください。
〔連絡先: 〒852-8012 長崎市淵町2-25 / TEL 095-861-0837, FAX 095-828-5563 / 長崎ダイヤモンドスタッフ (株) 旅行部 担当 山口隼人 / <http://www.diamondstaff.co.jp/>〕

(注意) 有名な長崎くんちが10月7, 8, 9日に開かれます。日本全国から観光客が詰めかけますので, 宿や交通はできる限り早めに予約する方が安全です。

大会前, 大会後観光へのお誘い 長崎は, 国際観光都市。興味深い観光場所はたくさんあり, どこへ行ったらよいか迷うほど。大会前観光は, 52種類もある「さるくコース」の中から好きなコースを選んで, 長崎を堪能してもらいます。また, 10月9日は, 長崎最大の祭り, 「くんち」の最終日。蛇踊りなど, 長崎ならではの出し物を見逃さないで下さい。大会後観光は, 日本最初の国立公園, 雲仙で温泉につかった後, 1990年に噴火し, 大火砕流を起こした普賢岳のある城下町, 島原を巡ります。これらの地域は2009年に世界ジオパークに登録されました。解散は12日, 長崎空港16時頃, 長崎駅18時頃。(さるくは長崎の方言で「歩き回る」の意味です)

大会前観光 (8日・金) 「くんちを観る」 (無料)

大会前観光 (9日・土) 『さるく』52コースから自由選択で参加。すべて無料。

大会後観光 (11・12日 月・火) 「雲仙・島原」 (有料) 参加者は, 大会終了後会場前に集合。